

2018.02.21

参加報告書「小松社長の中国天津・北京訪問に随行して」

知財支援コンサル 佐野 馨

はじめに

昨年末に開催されました小松電機産業様の年末経営発表会、並びに玉造温泉「玉泉」での望年会のご招待を受けました上に、このたびは小松社長より、中国 天津・北京の視察団に随行の栄を賜り、中国訪問の機会をいただきまして感謝申し上げます。

2018年1月28日から2月3日までの期間、前半の天津市において、1月29日から1月31日の3日間、日本ビジネスインテリジェンス協会(BIS)幹部9名と当協会顧問の小松電機産業社長ならびに人間自然科学研究所理事長の小松社長が協賛されて関係者9名の合計18名が参加し、後半の北京市において、2月1日から2月2日の2日間、小松社長と関係者9名の一員として随行参加させていただきました。



1.日程

2018年

1月28日 出雲発→羽田着 JAL シティ羽田東京 宿泊

1月29日 羽田発→北京着 バス2台(天津商委手配)で天津市へ移動 ホテルへ
「天津市商務委員会」訪問 会議参加 狗不理大酒店の宴会参加
ホテル「天津濱江凱隆酒店」小松電機グループメンバーの情報交流会

1月30日 バス1台(天津商委手配)で移動

「天津経済技術開発区 (TEDA)」訪問 会議参加

「天津東疆保税港区管理委員会」訪問 会議参加

「天津開発区・自由貿易区 東疆港地区」埠頭 視察

「市内口腔病院・第三中心病院」視察考察(口腔病院は予定キャンセル)

「南開区政府区役所」視察、座談会 区役所食堂での招待宴会 参加

- 1月31日 バス1台(天津商委手配)で移動
 建築中の「天津西青緑吉医院」視察考察（西青開発区興華十支路6号）
 「鵬天閣酒楼」で 会議参加 招待宴会
 「河北区人民政府」訪問 図書館、巷肆創意産業園見学、会議参加
 「天津 新天堂意式餐厅」 招待宴会 参加
- 2月1日 天津駅から北京南駅へ「北京－天津新幹線（高速鉄道）」で移動
 北京市内 ホテルへ荷物を預けて記念館へ移動
 「蘆溝橋記念館・中国人民抗日戦争記念館」訪問 会談、館内視察
 「北京崑崙海岸伝感技術有限公司」訪問
 「人民東方出版媒体の編集者の王様、呉様、新華社張可喜先生」
 ホテル「長富宮飯店」内の日本料理店 桜 で 交流会に参加
- 2月2日 「和の研究会」（共生文化研究会）のメンバーで 張先生の著書について
 意見交換 ホテル喫茶店 北京空港へ移動
 北京発→羽田着 JAL シティ羽田東京 宿泊
 （小松社長、細木様、魏様、永島様、佐野）
- 2月3日 羽田発→出雲着

2.参加者メンバー

・小松電機グループメンバー（敬語省略）

- 1 小松昭夫 小松電機産業(株)代表取締役、(一財)人間自然科学研究所 理事長
- 2 松岡真功 (株)BlueMeme 代表取締役
- 3 佐野 馨 知財支援 CS、島根県発明協会登録専門家、農水省6次産業化 PL
- 4 磯江公博 (株)エナテクス 常務取締役、(一財)人間自然科学研究所 監事
- 5 永島邦子 (株)農協観光 島根支店 主査
- 6 細木由里子 オフィス由 小松電機産業沖縄プロジェクト：PLAS
- 7 魏（高）亜玲 小松電機産業(株) 営業部、(一財)人間自然科学研究所 理事
- 8 李 曉明 大連天億機電設備控制有限公司 代表取締役
- 9 尹 熙竣 コマツコリア株式会社 代表理事

・BIS グループメンバー（敬語省略）

- 1 中村信也（東京家政大学教授、医学博士、整形外科医、法学士=整形外科、栄養学、薬膳、小説家=訪問団顧問）
- 2 海野貴史（エコパラダイス社長、環境、医療関係専門家(温熱療法、室内清浄システム発明家、環境農業開発、水浄装置など）＝ 訪問団顧問）
- 3 中川十郎（日本ビジネスインテリジェンス協会理事長、名古屋市立大学 22世紀研究所特任教授、
元米国ニチメン・ニューヨーク開発担当副社長、グローバルマーケット開拓専門家=団長）
- 4 伊藤 正（イトウソリューション&コンサルタント社長、元岩谷産業北京、大連事務所長=マーケティング専門家
=副団長・事務局長、BIS(日本ビジネスインテリジェンス協会)理事・事務局長）

- 5 小野共幸 (エコパライズ海外事業部長=訪問団事務局次長)
- 6 霜島清子 (茶道教授、不動産会社元社長=BIS 文化担当理事)
- 7 小林洋子 (東京家政大学・中村信也教授秘書長、気功専門家)
- 8 安井貴史 (World A-Investment 社長=海外投資)
- 9 劉 峰 (現代経済研究所所長、京進・中国総代表=BIS 国際理事=現地参加=訪問団現地アドバイザー)

3. 天津訪問団の目的(BIS グループ、小松電機グループ 合同)

(団長・BIS 理事長 中川十郎 先生 の コメントより抜粋転載)

今回の天津市・健康医療区視察に際し、天津市商務委員会のご支援・ご協力に感謝。本年は日中外交樹立 40 周年の記念すべき年、日中の友好、経済協力がますます強化されることを祈念し、過去 27 年、経済経営情報を研究している日本ビジネスインテリジェンス協会幹部 9 名と当協会顧問の小松電機産業社長ならびに人間自然科学研究所理事長の小松社長が協賛されて関係者 9 名の合計 18 名が訪問団に参加している。

少子高齢化が進む日本では健康医療福祉への関心が高まり、これらの分野で天津市と日本との協力をさらに強化したい。日本ビジネスインテリジェンス協会では、国際伝統・新興医療融合協会を設立し、西洋医療と東洋医療の融合の国際研究を強化することになり、さらなる天津市政府との連携・研究強化を希望している。

今後天津市とは現在話題になっているテラヘルツ(電磁波の一分類)・ヴァージンココナッツオイル、アユルベータ(インド大陸の伝統的医学)など先端東洋医学の分野でも関係を強化したいと希望している。そのほか健康食品、健康機器、農業新技術、空気、水洗浄装置などの各分野の専門家も参加しており、これらの分野でも天津市と日本との技術協力が強化されることを期待する。

今回の天津市商務委員会招聘の BIS 天津健康医療特区訪問使節団の訪問に際し、天津商務委員会は日本企業の天津市への進出、技術提携、経済技術開発区、貿易特区、健康医療特区での日中企業との協力を強く希望しております。

今回の訪問を機に、天津市河北学術文化、芸術分野での協力も含めて、将来一件でもビジネスが確立することを天津市商務委員会ともども強く期待しております。

4. 北京訪問団の目的(小松電機グループ)

- ① 蘆溝橋紀念館・中国人民抗日戦争紀念館 李館長と面談・交流
- ② 「北京崑崙海岸伝感技術有限公司」訪問 センサー関連技術の商談・情報収集
- ③ 「人民東方出版媒体の編集者の王様、呉様、新華社張可喜先生」と張可喜編著による新版予定の「小松昭夫創業記」或いは「小松昭夫的経営の道」の書籍について検討
- ④ 「和の研究会」(共生文化研究会)のメンバーで 張先生の著書、他について意見交換

5.訪問視察内容

・訪問先スケジュール

1月29日～31日天津は、小松電機グループ、BISグループ 計18名で合同訪問。

2月 1日～ 2日北京は、小松電機グループ 9名 で 訪問。

平成30年 月日 地域	訪問先 会議	小松電機グループ 9名	BISグループ 9名
1月29日 天津	1)天津市商務委員会	◎	★
1月30日 天津	2)天津經濟技術開發区(TEDA) 3)天津東疆保稅港區管理委員會 4)市内口腔病院・第三中心病院 5)南開区政府区役所	◎	★
1月31日 天津	6)天津西青綠吉医院 7)河北区人民政府	◎	★
2月 1日 北京	8)中国人民抗日戦争紀念館 9)北京崑崙海岸伝感技術有限公司 10)人民東方出版媒体の編集者の王様、呉様、 新華社張可喜先生	◎	
2月 2日 北京	11)「和の研究会」(共生文化研究会)のメンバー で張先生の著書について意見交換	◎	

BIS 日本ビジネスインテリジェンス協会

視察1日目 午後

5-1-1 「天津市商務委員会」訪問 会議参加(2018年1月29日16:20-18:00)





会議 配布受け資料（内容説明はなし）

【天津の概要】上記パンフより転載

- ・中国四大直轄市の一つ ・北方最大の沿海都市 ・市内定住人口 1,547 万人(2015 年)
- ・経済成長率が連続 6 年全国上位にランクインし、2016 年度 GDP は 1.79 万億を超え前年比 9%の増加 ・500 強企業が 150 社以上進出 ・中国北部第一の自由貿易試験区を擁しモデル地区として確立 ・全国レベルの経済技術開発区を 5 カ所、自治体レベルの工業団地を 31 カ所擁する。

【天津の健康産業発展について 天津の現状と発展目標】上記パンフより転載

天津は、京津冀（けいしんき）首都圏(北京市、天津市、河北省)共同発展、「一带一路」政策の重要な地点であり、医療サービス、リハビリテーション、保健、健康情報、健康管理の健康関連サービスに重点を置いている。天津は中医薬産業や中医薬教育に優れており、建設事業やインフラ整備等、政府の公的事業によるサポートによって発展してきた。また多様化する健康産業の発展と消費促進のモデル地区としての地位を築いた。

【会議概要】

天津市商務委員会から、各専門部署より出席されていた。天津市挨拶、中川団長挨拶出席者紹介などに続いて、中川団長より訪問趣旨説明などにより、健康福祉関係、漢方の甘草などについて意見交換。

小松社長より、事業内容紹介説明、中国古典名言録・他資料などを紹介・贈呈

5-1-2 「天津市商務委員会」招待宴会 狗不理大酒店（2018 年 1 月 29 日 18:30-20:00）



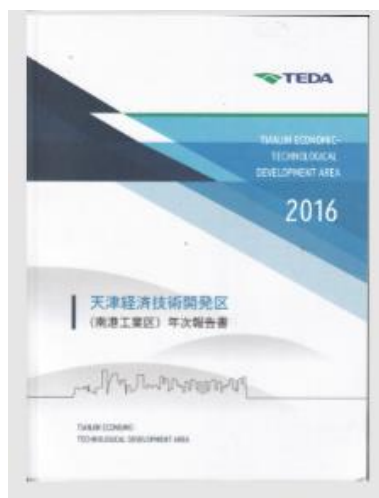
狗不理大酒店のフローア

天津市商務委員会 主任 張愛國氏

天津市和平区にある、中国を代表する包子専門の中華老字号（zh）の老舗である。

視察 2 日目 午前

5-2「天津経済技術開発区（TEDA）」訪問 会議参加(2018 年 1 月 30 日 9:40-10:40)



会議 配布受け資料（内容説明はなし）

パワーポイント「TEDA 投資のホットゾーン」で説明受け。



写真撮影させていただいたものを 別紙パワーポイントにまとめて報告いたします。

天津経済技術開発区（TEDA）から挨拶、中川団長挨拶・訪問趣旨説明などに続いて、上記パワーポイントで TEDA の活動を説明受け。

その後、意見交換。小松社長より、環境、平和の事業内容紹介説明、

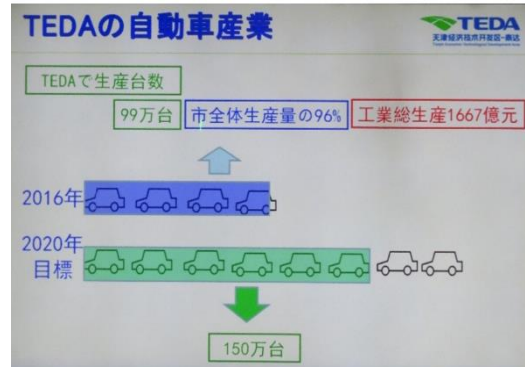
天津経済技術開発区(TEDA)



基幹産業

九つの基幹産業

- 自動車機械**: 代表的企業: 一汽トヨタ, 長城自動車 (GREAT WALL)
- 電子通信**: 代表的企業: セトローラ, サムスングループ, 松下, ハネウェル
- 医薬医療**: 代表的企業: Yeehan, John Deer, オース
- 近代サービス業**: 代表的企業: みずほ銀行, 一都一県一都一県, 三菱東京UFJ銀行, 日本郵船, オリックス
- 石油化学工業**: 代表的企業: ペトロチャイナ, 長城燃料 (GWGC)
- ハイテク産業**: 代表的企業: CIS, ノボ, ノルディスク, ノボシムズ
- 食品・飲料**: 代表的企業: 大塚, 養蜂場 (Beekeeping), コカコーラ
- 新エネルギー**: 代表的企業: 京セラ, 太陽エネルギー, 日立 (HITACHI), 東洋電機
- 航空宇宙**: 代表的企業: 次世代ロケット産業化基地



TEDAに完成車メーカー5社

The logos of the five car manufacturers operating in TEDA are displayed: TOYOTA, 長城汽車 (Great Wall), 星馬汽車 (Xingma), Volkswagen, and 天津清源 (Tianjin Qingyuan).

TEDAの自動車部品メーカー (200社余り)

A collection of logos for various automotive parts manufacturers operating in TEDA, including JOHN DEERE, INZICONTROLS, DAEDUCK, GRAMMER, TI Automotive, HYUNDAI, KUMHO, 出光, Continental, TOYOTA, STANLEY, YAZAKI, 中央発機, FUJITSU TEN, MANDO, AISIN, DENSO, and 豊田通商株式会社.

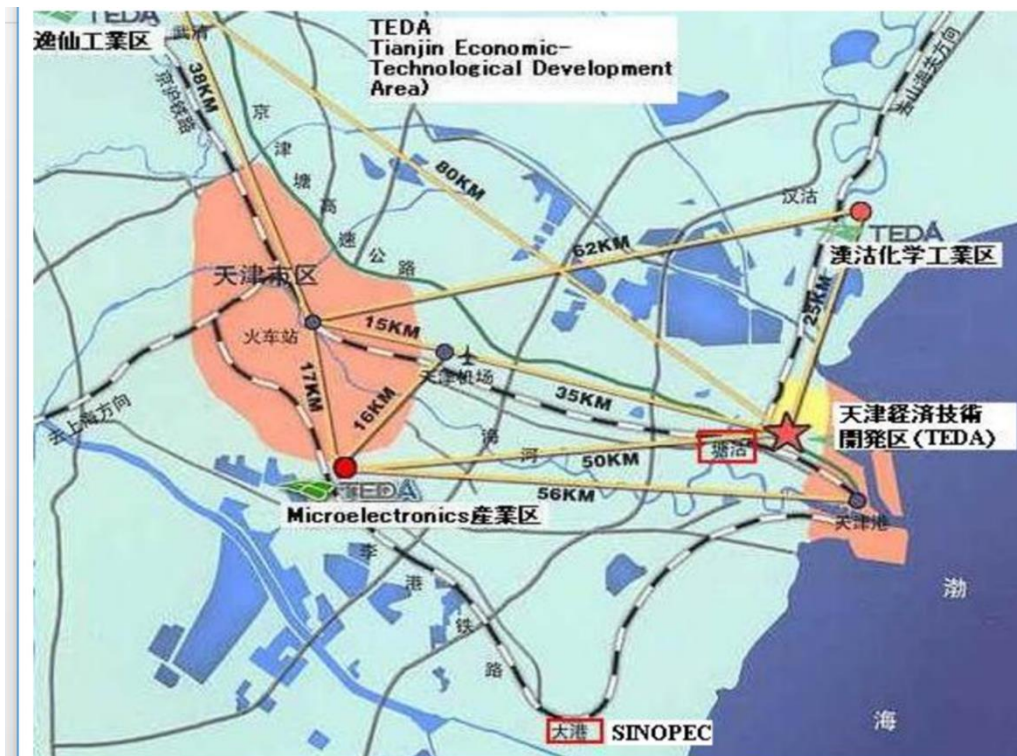
エンジン、自動車電子、金型、タイヤ、塗料などを含む完備なサプライチェーンができています。

TEDAの日系企業

- 2017年11月末まで、進出している日系企業は累計445社。
- 2016年TEDAベスト100社のうち、日系企業が13社。

A collection of logos for Japanese companies operating in TEDA, including TOYOTA, FUJITSU TEN, AISIN, Panasonic, DENSO, AEON, KYOCERA, IDEMITSU, YAZAKI, MORI SEIKI, Kawasaki, ISETAN, ROHM, FUTABA, YAKULT, and 大塚製薬.

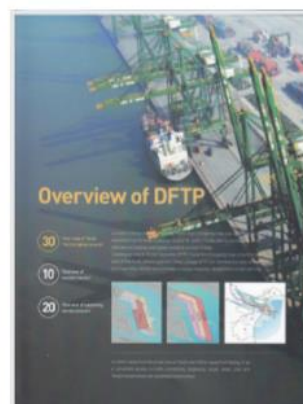
参考 TEDA の位置（天津市区の右下●印部分）



5-3-1「天津東疆保税港区管理委员会」訪問 会議参加(2018年1月30日 11:30-12:30)



小松社長 説明



会議 配布受け資料（内容説明はなし）

PowerPoint（パワーポイント）「中国(天津)自由貿易試験区 東疆港地区」情況紹介を



織り交ぜて説明受け。

写真撮影させていただいたものを 別紙パワーポイントにまとめて報告いたします。

天津東疆保税港区管理委員会から挨拶、中川団長挨拶・訪問趣旨説明などに続いて、上記パワーポイントも織り交ぜて中国(天津)自由貿易試験区 東疆港地区の活動を説明受け。その後、意見交換。

小松社長より、自社事業の環境、平和の事業内容紹介説明

(参考)

天津の自由貿易区制定:まずは東疆港地区が中心、金融業などが焦点 2014-10-27

新華社系メディアの経済参考報によると、中国中央政府はすでに、天津港で新たな開放を進める計画を許可した。天津市の東疆港区を中心に、自由貿易区の建設を進める。

天津の自由貿易区では、金融やリースの面で果たす機能も、重視される。外資に対しては上海の自由貿易試験区と同様に禁止または規制する営業分野のみを定め、それ以外の活動は自由とするネガティブ・リスト方式を採用する。ただし上海の場合よりも、ネガティブ・リストが示す範囲は「より少なくなる」見通しと言う。

天津市はすでに、首都である北京市や、北京市や天津市を取り囲む河北省と一体化する開発が進められることになっている。自由貿易区の設立は「首都圏一体化開発」を加速することになるとみられている。天津市における自由貿易区設立は当初、東疆港区を中心に進められるが、その後は滨海新区や天津市中心部のビジネス街、天津港保税区にも広げられる。天津市中心部は金融やサービス貿易、東疆区では航空貨物分野、天津港保税区では保税業務、物流、倉庫業など、同じ天津自由貿易区でも各地域の特徴に合致した、戦略的發展策が取られるという。

関係者によると、政府の要求により、天津自由貿易区には、上海自由貿易区とは異なる機能を持たせる方針だ。ただし、「企業の参画は容易にし、企業活動の（合法性や合規性などの）監視・管理は厳しくする」との方針は同じだ。

ただし、中国人民銀行上海総部の張新坦主任がこれまでに、金融改革で必要になるリスク管理能力の問題を重視し、新たな仕組みの適用範囲を全国に広げることについて「上海自由貿易区で行った金融改革は、人民元のクロスボーダー業務や、個人による人民元のクロスボーダー決済など、参考に値するものであり、すでに全国に広めている。しかし、実体経済と関連性が大きくない短期的な資本流動については、開放に際して慎重な姿勢を維持する」と述べていることから、天津における金融分野の試みについては、最初の段階から急速にすすめることはないとの見方が出ている。（編集担当：如月隼人）

5-3-2「天津東疆保税港区管理委员会」訪問 昼食(2018年1月30日 12:40-13:40)



食堂の冷蔵庫に
「中華人民共和国 衛生許可証」
の認証シールが貼ってあった。

5-3-3「天津開發区・自由貿易区 東疆港地区」埠頭視察 (2018年1月30日 13:50-14:10)



埠頭の様子



ヤードクレーン



天津港計画図



天津自由貿易区 東疆エリア 埠頭 ドイツ車がずらり



天津 自由貿易試験区



爆発地点

天津空港 エリア
43.1 km²

東疆エリア 30 km²

中心商务区 46.8 km²

自由貿易区
東疆エリア



【天津港】天津港、世界一を目指す

今から 62 年前の 1952 年に再建された天津港は天津市滨海新区に位置します。故毛沢東主席も視察のため天津港を訪れたことがあります。60 年あまりの発展を経て、現在、天津港は中国北方最大の港となりました。水深最大 21 メートルの天津港はバースが 159 カ所、1 万トン級以上の船舶の停泊できるバースが 102 カ所あります。25 万トン級の船舶がいつでも利用することができ、また 30 万トン級の船舶も潮位を利用して入港できます。天津港は日本、韓国、アメリカ、シンガポールなどの国々の 400 余りの港と業務提携を結んでいます。天津港は面積が 131 平方キロメートルあり、東疆港区、北疆港区、南疆港区などのエリアに分けられています。2013 年、取扱貨物量は初めて 5 億トンを上回り、コンテナ取扱量は 1300 万標準箱に達し、世界 4 位の港となりました。

世界一の港を目指す天津港は、30 平方キロメートルの東疆港区を 70 平方メートルまで拡張する計画です。また、2014 年の目標として、取扱貨物量を 5 億 3000 万トンに、コンテナ取扱量を 1430 万標準箱に増やそうと努力を重ねています。



東疆港区に停泊スペース 6 カ所を持つ太平洋国際コンテナ埠頭有限公司の責任者は「競争がますます激しくなっている現在、わが社はどんな船が入港しても、必ず 24 時間以内に荷物の積卸しを完成させる。これはわが社の競争に勝つ秘訣だ」と話しました。(牟)

「天津開発区・自由貿易区 東疆港区」の視察

東疆港区は埋め立てで形成されているとのことだが広大な大平原で建物は居住区が優先されて流通倉庫などはこれからの感じであった。また、天津港の埠頭視察は、天津港のスケールの大きさに圧倒された。小松社長から、日本にこれだけの港は 2 カ所もない。このようなところと勝負するにはよほど頑張らないといけない。とのコメントをいただく。

視察 2 日目 午後 (市内口腔病院は予定キャンセル)

5-4 「~~市内口腔病院~~・天津市第三中心医院」視察考察 (2018 年 1 月 30 日 15:30-16:30)



救急治療室 栄養科 科長説明



糖尿病対応 検査装置



病院内移動 シートシャッター設置候補場所



← 病院内案内時に
配布受け資料
(内容説明はなし)

← 見学先主力の栄養科

医療膳食一覧表



治療膳食一覧表



配膳棚



個人別に点滴を作成 壁に電子ボード



個人別に点滴を作成



本日の担当医師を電子表示



治療対応
西洋医学が中心であるが、
患者が東洋医学を申し出ると
それも許容されるとの話。

階段奥の食堂入り口 シートシャッター候補



「医療膳食配製室」の説明がとても参考になりました。患者 一人 一人に応じて食事のメニュー、点滴のメニューなどの食事療法の調理がられていること。それが ペーパー資料になったり、ディスプレイの電子表示で提示されている点など。

また 西洋医学が中心であるが、患者が東洋医学を申し出るとそれも許容されるとの話。入り口の各所にゴム、布垂れやビニールシートによるのれん垂れが付けられており、シートシャッター「門番」の出番が多いと感じました。

病院概要は、病院の中に、栄養学を導入した専門科が設けられている。患者の栄養バランス測定、栄養素が処方される。栄養剤の補充は注射、食事で行っている。食事療法の処方 は一人ずつ処方して食堂で作る。流動食から食べ物は 1000 種類以上。1500 人の患者に対し、98 人のスタッフ、18 人の医師が対応している。入院患者の状況は、3 食/日が 8 元（約 140 円）で、1000 人の食事、500 人が点滴治療を受けている。入院費は 35 元（600 円）/人（部屋によって 50 ～150 元 まで幅がある）。10 日間が入院の限度で、患者の栄養状況と病状による食事療法が行なわれている。

病院の各所に、電子表示のディスプレイが設けられており中国の先進的な電子化の勢いを感じた。また各病棟の科内容の一覧掲示ボードや医師の顔写真入りのディスプレイ紹介などは中国流の情報公開になっておりこれらは参考にすべきと思った。

5-5-1 「南開区政府区役所」事務所視察（2018年1月30日 17:00-17:10）



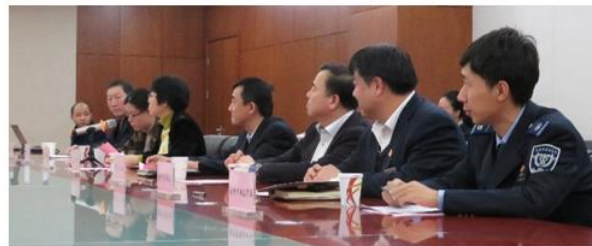
南開区政府区役所 の事務所 紹介案内 一階・二階

紹介者の女性が 中国語で紹介されるのみ。通訳なし

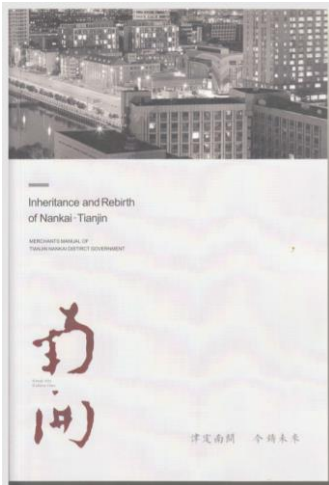


書類提出での政府認可機関、窓口相談

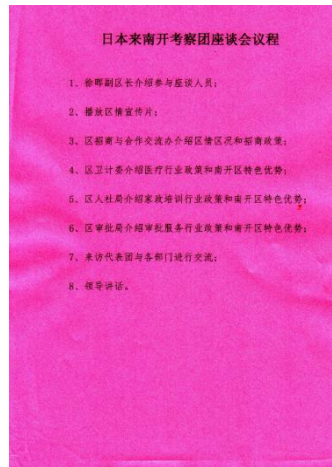
5-5-2 「南開区政府区役所」座談会（2018年1月30日 17:15-18:30）



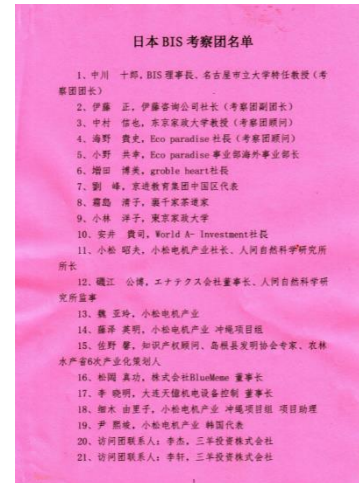
天津市内で一番大きい区であり 165 万人が住んでおり、教育の町とも言われる。温家宝、周恩来が卒業された南開中学・高校もこの地区にある。南開区は科学技術の促進、人材育成 のキーワードを掲げ、スマート企業、高品質産業の誘致を進めている。日系企業と共同開発を希望している。入居地区によっては税金の優遇対策も取っている。



配布受資料 南開区説明



座談会議題



日本側出席者

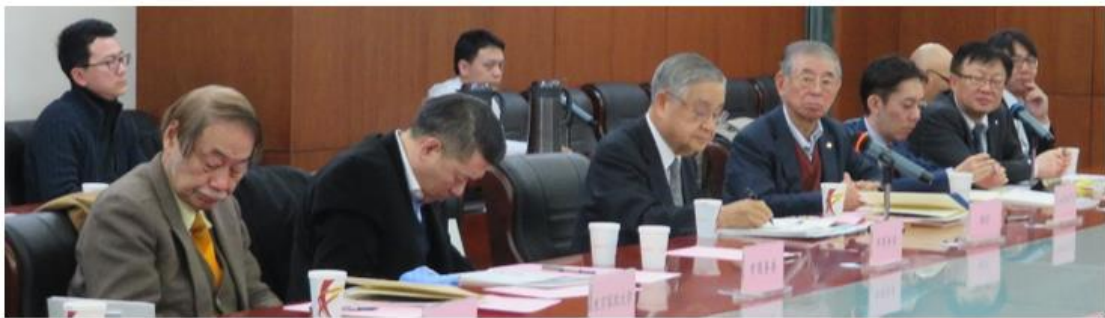


動画「南開区政府区役所」関連の、区政概要、産業、区役所などを放映紹介された後で、



パワーポイント「美廊学府 幸福南開」を紹介

(動画並びにパワーポイントは、別添資料にてデータ報告いたします。)

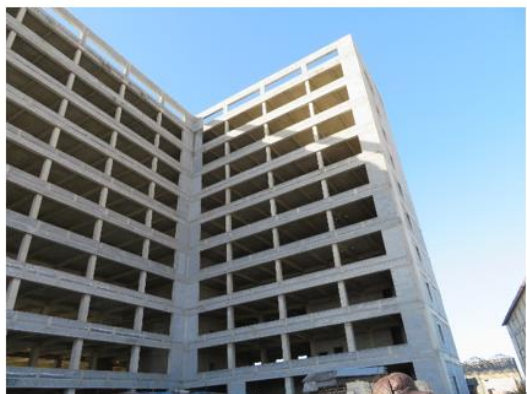


5-5-3 区役所食堂での招待宴会 参加 (2018年1月30日 18:45-19:45)



視察 3 日目 午前 ホテルより バス 1 台(天津商委手配)で移動

5-6-1 建築中の「天津西青縁吉医院」視察考察 (2018 年 1 月 31 日 10:00-10:30)



老人ホームと一緒に併設、建設中。

土砂上に緑色のネットが被覆されて風による土砂の飛散防止対策を図っているとのこと



会議時 配布受け資料(内容説明なし)

5-6-2 「鵬天閣酒楼」で 会議参加 招待宴会 (2018 年 1 月 31 日 10:45-14:30)

(西青開発区興華十支路 6 号)

院長 趙光権様と面談



院長 趙光権様より、病院構想や老人ホーム構想について説明。

病院建設は耐震設計であるとの説明だが、現場工事はかなり止まっている感じてある。

老人ホームについても良いものに仕上げて入居者に住みよい環境にするとのこと。

小松社長より書籍「悠久の河」周藤彌兵衛翁物語 贈呈。

視察 3 日目 午後

5-7-1 「河北区人民政府」訪問 問津書院見学、(2018 年 1 月 31 日 15:00-15:30)



問津書院は、図書館のような感じで、河北区の歴史書、中国の人物伝、児童文学、伝記物など数多くの蔵書が保管されている。

5-7-2 「河北区人民政府」訪問巷肆創意産業園見学、(2018 年 1 月 31 日 15:35-15:50)



巷肆創意産業園は、食器、台所用品、家具などをデザインしたものが多数展示されている。茶道に関連する展示もあり、霜島先生(茶道教授)が活発に意見交換されていた。

5-7-3 「河北区人民政府」訪問会議参加(2018 年 1 月 31 日 15:50-17:30)



小松社長より
技術について、西周の翻訳
「メカニカルアート」を紹介。

河北区人民政府よりの、会議配布資料なし



ビデオ放映① 中国 天津 紹介



ビデオ放映② 河北区 デザイン 茶道 芸術関係

(ビデオ放映された動画は、別添資料にてデータ報告いたします。)

5-7-4 「天津 新天堂意式餐厅」 招待宴会 参加(2018 年 1 月 31 日 18:30-21:00)

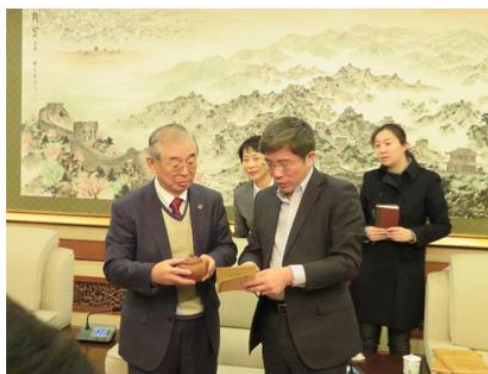
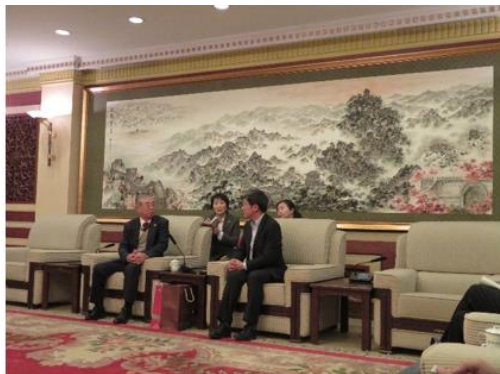


宴会場で、三カ所に分かれての招待。通訳なく、手書き身振りの体当たり演技。要領が分かるとなんとなく筆談で意志疎通が図れる感じであった。途中で大連の李社長に手伝ってもらって回転磁石付き知育玩具「マグフォーマー」の特許ライセンスについての紹介を行った。「佐野馨」の名刺でスマホ検索され、前職 特許流通アドバイザー当時の記事掲載があったと紹介されて驚いた。スマホは会話にとっても必需品の感じである。

視察 4 日目 2 月 1 日早朝に 新幹線で天津駅から北京南駅へ移動

5-8-1「中国人民抗日戦争纪念馆」訪問 会談 (2018 年 2 月 1 日 10:00-11:15)

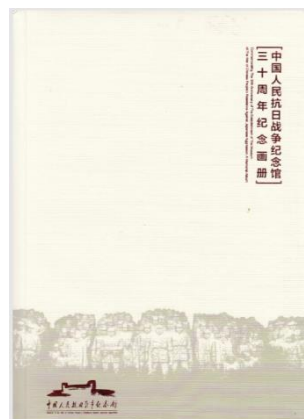
・李館長 と 小松社長 面談 (小松社長の健康回復を大変に喜んでおられた。)



小松社長より書籍「悠久の河」周藤彌兵衛翁物語 贈呈



李館長より、小松社長
はじめ随行者に贈呈。



昨年 7 月、「中国全民族抗战勃発 80 週年記念&国際二戦博物館館長フォーラム」にて、人間自然科学研究所の磯江公博監事代読により小松社長の「世界平和事業構想」が発表され、その主催者である中国人民抗日戦争纪念馆の李宗遠館長とそれの具現化に向けて話し合うことなどを目的とされた訪問。世界の記念館の映像を、遠隔地で見ても現地に訪れたくなるようなものをつくるという提案が素晴らしい。さらに迫力のある映像なども取り込んで実現化を図りたいとのこと。

5-8-2「中国人民抗日戦争紀念館」訪問 館内視察 (2018年2月1日 11:15-12:00)



館内の主たるところをご案内いただいた。中国共産党の戦い紹介などは日本にはない写真映像などで紹介されていた。南京大虐殺のコーナーや毒ガスを用いた戦闘紹介コーナー、拷問器具の紹介コーナーなどは衝撃的であった。

主要な日本の政治家も多く訪問されており、上記村山総理の書「歴史を直視し 日中友好 永久の平和を祈る」は正にその通りだと感じた。

小松社長が推進される「世界平和事業構想」の達成に大きな意義を感じました。

5-8-3「中国人民抗日戦争紀念館」訪問 屋外 (2018年2月1日 13:00-13:30)



冬晴れの北京 快晴 無風で 空が青く澄んで マスクも不要でした。謝 謝

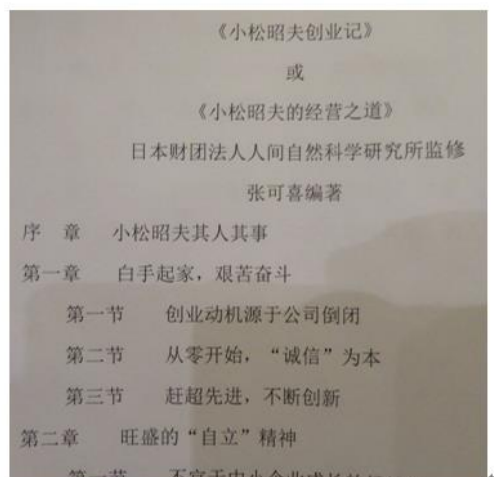
5-9-1「北京崑崙海岸伝感技術有限公司」訪問 会談（2018年2月1日 14:45-15:30）



やくも水神システムに使用可能な、下水道の圧力式水位計と、離隔距離がある制御盤を無線装置で通信する機器を求められての商談訪問。当社は、開発された技術は国の認定授与、特許権利化などに努めておられ独自技術の確立で差別化を図っておられる感じに思えた。

5-10-1 「人民東方出版媒体の編集者の王様、呉様、新華社張可喜先生」

ホテル「長富宮飯店」内の日本料理店 桜 で 交流会に参加(2018年2月1日 17:30-21:30)

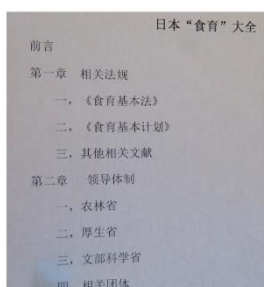


人民東方出版媒体の王麗郷様、呉常春様、新華社張可喜先生と今春に計画されている「小松昭夫経営の道」「経営実践手帳」の出版記念典について協議された。

発表イベントは今年日中国交回復 40 周年記念行事が 7 月に予定されているため、その前の 6 月中旬を目標に開催される計画を協議された。

視察 5 日目

5-11-1 「和の研究会」(共生文化研究会)のメンバーで 張先生の著書について意見交換
ホテル喫茶店 参加(2018 年 2 月 2 日 10:00-12:00)



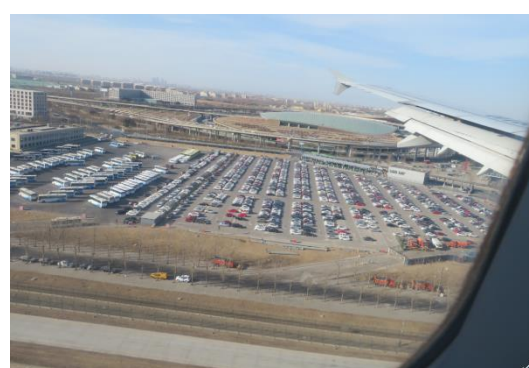
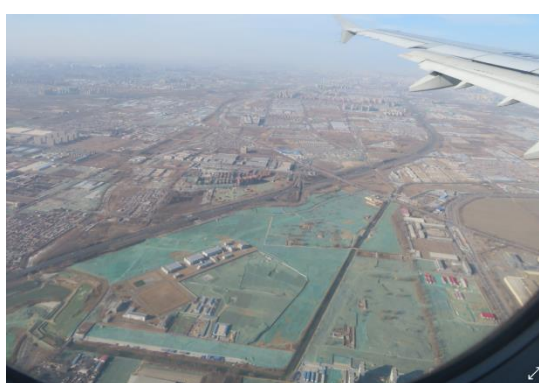
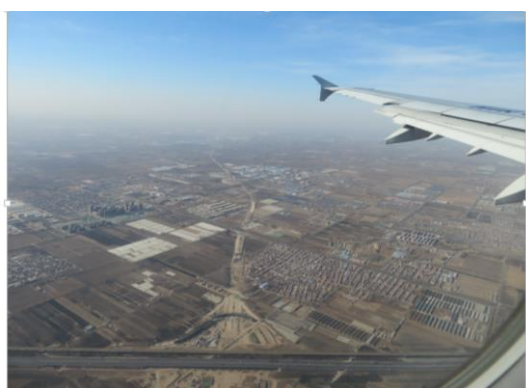
張先生の著書
食育関係について意見交換
書の関係の先生が次々と現れて
中国の奥行きの深さを感じた。

小松社長より書の先生に
小松社長の紹介書籍・関連
資料を贈呈

5-11-2 「和の研究会」 桜で懇談会 （2018 年 2 月 2 日 12:20-13:40）



6 所感



初めての天津・北京方面の視察に随行させていただき、飛行機は北京空港に近づいてきた。当初は、全面雪景色で河や湖などが凍結しているように見受けられたが、北京空港に近づくにつれて雪がなくなってきた。そのかわりに、工事現場などに地面が緑色になっているところが目立つ感じで不思議に思っていた。視察 3 日目の天津市内病院建設現場で地面の土砂上に緑色のネットが被覆されて風による土砂の飛散防止対策を図っているとの説明を受けて納得した。農村地帯と思われるところに近代的な高層建築や工事箇所があちこちに目立つ感じに見受けられ、北京周辺地域の都市化の波が急速に進んでいるように思えた。北京空港へ着陸するときには遠く北京市内の方向に眺望がはっきりして青空も見えており、政府主導の大気汚染防止対策が効果をあげているように感じた。

北京から天津市に向かう高速道路や北京市内から北京空港に向かう高速道路沿いに並木が続いており、耐寒性のあるポプラが植栽されているとのこと。木の幹部は土壌から1メートルの高さの所まで、白いペンキのような物が一面に塗られており、これは虫除け用の石灰が塗布されているとのこと。もの凄い数のポプラ一本、一本が管理されており中国のマンパワーに驚きました。白く塗るのは虫除けの他に、夜間走行の反射の意味もあるらしいです。

Wikipediaによりますと、天津市（英語: Tianjin）は、中華人民共和国に位置する直轄市。国家中心都市の一つ。略称は津。天津は華北平原海河の五大支流の合流する所に位置し、東に渤海を、北に燕山を臨む。市内を流れる海河は天津の母親河とも呼ばれる。環渤海湾地域の経済的中心地であり、中国北方最大の対外開放港である。首都北京市とは高速道路、高速直通列車、京津城際線によって、0.5～2 時間以内で結ばれている。元々は海河の河港であったが、河口の塘沽に大規模な港湾やコンテナターミナル、工業地帯が形成されている。経済成長率の高さはここ数年に渡り、全国トップである。2017 年の第 13 期の全国体育大会の開催が決まっており、夏季ダボスフォーラム常駐開催都市でもある。市区人口は 506 万人、都市圏人口は 720 万人。天津の町並みは、高層ビルが建ち並び銀行関係の建物が目立



つ感じであった。交差点の信号は秒数カウント或いはランプの点滅数で信号切り替えの待ち時間が表示視認されるので便利と感じた。

天津の視察は、BIS 御一行様とのバス内での自己紹介、交流をはじめ、産業振興の面、自由貿易の面、健康福祉の病院視察、老人ホーム構想など各方面

に及んでおり、いろいろな視点からの情報が探れて参考になりました。

特に、視察 2 日目の「天津経済技術開発区（TEDA）」訪問

「天津東疆保税港区管理委員会」訪問、天津自由貿易区 東疆エリア 埠頭 視察、は天津の経済発展の勢い、息吹がもろに感じられ圧倒されていました。このことは実際に現場、現実、現物を見させていただくことで今後の活動に貴重な体験を得たと感じています。



また、「天津 第三中心病院」視察考察は、バス移動中の途中で見た「天津市第一中心医院」に続く系列のものかどうか不明ですが、患者に寄り添って治療するスタイル保持に徹して、人口増、高齢化の課題などに対応すべき、医療スタッフの方々の並々ならぬ決意と意気込みを感じました。農林水産系や食品加工や製造技

術系などを主力とする当職の立場では、普段にはなかなか見学できない病院の栄養科視察は変わった視点からの目が磨かれて良かったと思います。病院側にもシートシャッターの導入候補箇所が見いだせる点も新規ビジネス発掘で視察の効果があったと感じます。

天津から北京への移動は早朝の新幹線移動で、当方にとってはパスポート提示、手荷物検査などに驚いていましたが、関係者の皆様には大変お世話になりました。

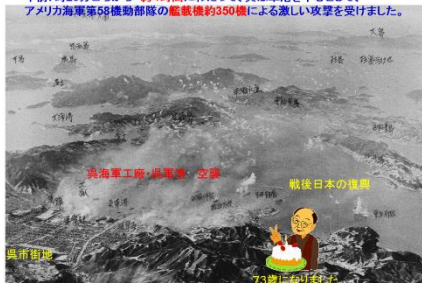
「盧溝橋記念館」・「中国人民抗日戦争纪念馆」の訪問に際しては、小松社長の財界につぼん



を拝読させていただき、過去、現在の状況を認識したうえで、小松社長が提唱される将来の「世界平和事業構想」について知識を深めることに努めたつもりでした。また、中国のことがマンガで 3 時間でわかる本、や図説日中戦争の書籍、盧溝橋のネット記事紹介、ユーチューブの動画紹介などで予備知識を充電したつもりでありました。

しかしながらこれらの書籍などを精読した筈でしたが小松社長からご質問をお受けすると咄嗟に回答ができない状況で知識の押し込みはなかなか難しいと感じました。

1945年(昭和20年)3月19日 広島県呉市 初空襲
午前7時20分ごろから 約4時間にわたって、呉は軍港を中心として、
アメリカ海軍第58機動部隊の艦載機約350機による激しい攻撃を受けました。



当職の生い立ちは、父親が呉の海軍工廠造機部に勤めて戦艦「大和」の建造にも携わっていた関係で、昭和 19 年 11 月に呉市で出生。翌年 3 月に呉の初空襲を受けて、4 月末に父親の故郷である八束郡講武村(現松江市鹿島町)に疎開したということです。父親は海軍工廠に入る前は、松江第 63 連隊に軍属して初年兵の時からいきなりハルビンに派遣。

雪原強風の中での射撃訓練で優秀な成績をあげて狙撃兵に推薦されたそうですが、音楽好きでラッパ手に志願してビンタの連発を食らうも初志貫徹。「ならば、連隊一のラッパ手になれ」との厳命を受けてラッパ手に任命されたそうです。父親から聞かされる呉の状況や戦艦大和の話、ミッドウェイ敗戦の秘話、ハルビンの話、広島原爆の投下の話などの影響を受けて育ち、満州事変や太平洋戦争の話などはかなりの書籍に目を通した感じです。



しかしながら日中戦争については、あまり読んでいないことに気づきました。今回の視察に随行させていただき、この点を現地で新たに学ばせていただいた点は大変に良かったです。「盧溝橋事件」のこともこれが日中戦争のはじまりと言われていることは認識していましたが、その先の深い意味は全くサーチしていませんでした。

今回、視察に出かける前にいろいろな書籍や動画などで

日本軍的立場からの事実関係を学ばせていただきましたが、小松社長から聞きました松江第 63 連隊が壊滅的敗北をして撤退した台兒荘の戦いなどは、初めて知った次第です。

台兒荘の戦い(たいじそう/だいじそうのたたかい)とは、日中戦争中の 1938 年 3 月から 4 月 7 日までの間、山東省最南部の台兒荘(台兒庄とも)付近で行われた戦闘である。台兒荘の攻略を企図した日本軍部隊が、中国軍の大部隊に包囲されて撤退、徐州作戦の引き金となった。中国側が「抗戦以来の大勝利」を宣伝したことでも知られる。

日中戦争には関しては、殆ど歴史認識がない状況でしたが、「盧溝橋記念館」・「中国人民抗日戦争記念館」の館内見学をした感想は、日中戦争で日本軍が行なった残虐行為の数々→三光作戦などに非常に大きな衝撃を受けています。

NHK 戦争証言アーカイブスによると、[証言記録 兵士たちの戦争]

華北・ゲリラ掃討戦 敵は民の中にありて見えず ～島根県・歩兵第163連隊～

島根県松江市で編成された歩兵第163連隊や岡山の歩兵第110連隊に課された任務は、この広大な地域の治安維持だった。しかし、この地域に浸透してきた中国共産党の軍隊、八路軍（はちろぐん）は小規模な日本軍部隊をねらった待ち伏せ攻撃や、監視塔守備隊への襲撃などゲリラ戦を展開。日本軍が八路軍の動きをつかみ部隊を向かわせても、八路軍は地下に張り巡らせた通路から脱出するなど捕捉は困難だった。

昭和17年5月、華北平原北部、北垣村の戦いでは、地下壕に逃げ込んだ八路軍兵士や住民をいぶり出すために、日本軍は毒ガス兵器「あか筒」を使用した。吐き気やくしゃみを引き起こすあか筒は戦場で敵の戦意を奪うために使われるもので、通常は死をもたらすことはないが、大量に吸うと呼吸困難を引き起こすため、地下壕などの閉鎖空間で使うと、死に到る可能性があった。日本軍の報告書は北垣村での八路軍側の死者を300名と記録しているが、中国側では死者の数を500名から800名としており、正確な数は現在も分かっていない。太平洋戦争終盤、急速に悪化する戦況の中で、部隊は米軍から武器・弾薬の援助を受けた中国国民党の軍隊と対峙。揚子江の北部で展開された老河口作戦で火力に勝る中国軍の猛攻を受け、将兵は命を落としていった。

と説明されています。詳細はビデオ内容によりますが、証言者の発言は生々しいもので、「盧溝橋記念館」・「中国人民抗日戦争記念館」に提示される日中戦争で日本軍が行なった残虐行為の数々は正しい歴史認識で理解する必要があると思いました。そして、小松社長も指摘されていますが、これだけの行為がありながら蒋介石は、「怨みに報いるに徳をもってせよ」と国民に呼びかけられ、「汝の敵を愛せ」などの言葉を思い、日本の好戦的な軍閥のみを敵と考え、日本人民は敵とみなさないと言明されていたそうです。（かなりを省略記載）そして、周恩来総理の「前事を忘れず後事の師とす」、江沢民主席の「歴史を鑑とし未来を拓く」という言葉を認識して小松社長が提唱される「世界平和事業構想」の推進に寄与したいと考えます。私の住む鹿島町は 魯迅と増田渉にゆかりがあり、今回を機会にこの点の認識も深めていきたいと考えます。

人民東方出版媒体の王麗郷様、呉常春様、新華社の張可喜先生にお会いさせていただいたことは大変に誉れ高いことと思いました。

今回の「小松社長の中国天津・北京訪問に随行して」の貴重な機会を賜り、いろいろなことを見聞させていただきましたこと深く感謝を申し上げます。

また、小松社長にお気遣いを賜り、魏 亜玲様はじめ、皆様方に変にお世話になり無事に天津・北京の視察が終えましたこと厚く感謝を申し上げます。大変ありがとうございました。